

■ 銘柄:東京白金 ■

氏名 田栗 満

材料で尽くし感から買い戻し優勢な動き。



■ コメント ■

本日の白金は、92円高の3731円で終る。東京(15:30)の白金スポットレートは1208ドル。
週末のNY市場の大幅高を受け買われて始まった。一時3662円まで下値を確かめた後は、徐々に水準を切り上げだし、GMに対する支援策などが報道されると、為替の円安も加わり大幅高となった。午後からは3758円まで一時高値を追ったが、引き際には利食いに押されて終っている。終値ベースで東京白金6月限の価格を逆算すると1217ドルとなり、今晚のNY市場で17ドル近く上昇しなければ東京市場は割高な水準となる。その為、夜間取引では調整を行う可能性が高いのではないかと、オシレーターを見ると現在は買いの領域であり、売れない状況である。移動平均線は、デッドクロス後のストキャスティクスの売りサインを見つける状況で、まだ売りサインの発生には至っていない。以上の事から売りポジションを持つのはまだ早い。ただこの2日間の上昇幅が212円となり、少々行き過ぎと受け取れる。また今晚は、ガイナー財務長官が中国訪問し、人民元や米国債について中国主席と会談を行う予定であり、目が離せない材料ではないかと、目先、オシレーターの売りサインまでは売りは禁物と考える。(17:05記 田栗)

■ テクニカル ■

移動平均(10MA)	3552円
移動平均(40MA)	3648円
RSI(9日)	65.92%
%D	88.06
slow%D	78.62

商品先物取引のリスク

商品先物取引は、期限・レバレッジのある取引です。取引証拠金の額に比べ約15倍から約40倍という著しく大きな金額の取引を行うため、日々の値動きにより、短期間の中に大きな利益・大きな損失を被る可能性があります。

詳細につきましては、PremiumClubメニュー左下に掲載されている「取引の重要事項」をご確認ください。